

## 随筆の構成をもとにして、 「季節や時の移ろい」の感じ方を比べる

### 目標

#### ● 知識及び技能

抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 (1)エ

#### ● 思考力、判断力、表現力等

文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 C(1)オ

#### ● 学びに向かう力、人間性等

言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

### 評価規準

#### ● 知識・技能

**〔知技1〕** 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。

#### ● 思考・判断・表現

**〔思判表1〕** 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。

#### ● 主体的に学習に取り組む態度

**〔主1〕** 進んで自分の知識や体験と結び付けて筆者の考えを捉え、学習課題に沿って、自分の考えを話し合おうとしている。

## 指導案の概要

本指導案は、単元を随筆の構成について学習することからスタートすることで、筆者と自分の「季節や時の移ろい」についての感じ方を比べやすくする試みである。随筆は、筆者が見聞きした体験（エピソード）をもとにして、思いや感想を述べる構成をとることが多い。原田マハ「あの夕暮れへ帰る」は、筆者がパリで体験したエピソードから感じた「季節や時の移ろい」について述べたものである。本文を「エピソード」と「筆者の思いや感想」に読み分ける学習活動の後に、生徒は、自身が「季節や時の移ろい」について「どんなエピソード」をもとにして「どのような思いや感想」を持っているのかを考えていく。同じ枠組みで考えを整理することには、筆者と生徒自身の「季節や時の移ろい」の捉え方の共通点や相違点が比べやすくなる利点がある。また、第2学年の最初の教材で随筆の構成を理解することで、同学年の後半で扱う、同じ構成を持つ兼好法師「徒然草」の学習などに接続しやすくなる。

# 学習の流れ

時	学習活動	学習・指導の具体例	評価規準・評価方法
1	<p>①本単元のねらいと学習活動について知る。</p> <p>②随筆の構成について理解する。</p> <p>③本文を通読し、「文章の構成」や「文脈上の意味が取りにくい語や表現など」について整理する。</p> <p>④「文章の構成」と「文脈上の意味が取りにくい語や表現など」について交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本単元が、「季節や時の移ろいをどのように感じているのか」について、筆者と自身の体験を比べて考えを広げたり深めたりする学習であると知る。</li> <li>●随筆が〔筆者が見聞きした体験（エピソード）⇒筆者の思いや感想〕の構成をとることを理解する。</li> <li>●本文を通読し、「文章の構成」と「文脈上の意味が取りにくい語や表現など」について整理する。</li> </ul> <p><b>発問例</b> 本文を通読し、「エピソード」と「筆者の思いや感想」とを読み分けましょう。</p> <p>※2種類の傍線を引き分けたり2色のペンを用いたりするなどして、「エピソード」と「筆者の思いや感想」の違いを可視化させる。</p> <p>※「文脈上の意味が取りにくい語や表現など」には印を付けておくように指示する。</p> <p>※例えば、「夜をはらんだ夕暮れ」の「はらんだ」を確認する際には、「薄明るい夜」、「完全な夜ではない」とほぼ同義であることや、夕方六時頃のバリの様子と対比するなどして、文章の流れの中で確認したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●整理した「文章の構成」や「文脈上の意味が取りにくい語や表現など」について、ペアやグループで交流する。</li> </ul> <p><b>発問例</b> 「筆者のバリでのエピソードはどのようなものなのか」、「筆者はどのような思いや感想を持つに至ったのか」について、ペアやグループで伝え合いましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●数名の生徒に発表させ、「文章の構成」を黒板に図解したり、「文脈上の意味が取りにくい語や表現など」の意味を確認したりする。</li> </ul>	<p><b>知技1</b> (観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●語句の意味や表現などについて、文章中での意味を理解しているかを確認する。</li> </ul>
2	<p>①どのようなときに「季節や時の移ろい」を感じるのかを確かめる。</p> <p>②筆者と自分との感じ方の共通点と相違点を整理する。</p> <p>③整理した共通点と相違点を交流する。</p> <p>④学習を振り返り、自身の考えの広がりや深まりをノートにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分自身がどのようなときに「季節や時の移ろい」を感じるのかをノートに書き出す。</li> </ul> <p>※4月の教材なので、「春の訪れ」と限定してもよい。</p> <p>※「日脚」や「モネが描いた『睡蓮』」などのように、季節や時の移ろいを感じる具体的な語や事物を取り上げるように助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●本文を読み、筆者と自分との「季節や時の移ろい」の感じ方の共通点と相違点をノートに整理する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●筆者と自分との「季節や時の移ろい」の感じ方の共通点と相違点について、ペアやグループで交流する。</li> </ul> <p><b>発問例</b> 筆者と自分の「季節や時の移ろい」の感じ方の共通点と相違点を交流しましょう。</p> <p>※どのような観点で共通点と相違点を整理しているのかを認識させるように助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●これまでの学習を振り返り、ペアやグループでの交流を踏まえて、自身の考えがどのように変化したのかをノートにまとめる。</li> </ul> <p>※本文の記述を具体的に取り上げて書くことを条件とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●数名の生徒に発表させ、全体で共有する。</li> </ul>	<p><b>思判表1</b> (ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「季節や時の移ろい」について、筆者の感じ方と自分の知識や体験との共通点や相違点を整理し、考えを広げたり深めたりしているかを確認する。</li> </ul> <p><b>主1</b> (観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●筆者が感じている「季節や時の移ろい」を具体的に取り上げて、自分の感じ方と比較しようとしているかを確認する。</li> </ul>